

第23回東北地区国立高等専門学校技術職員研修 参加報告

発表者 第1班：○遠田明広、第2班：○鈴木大介

聴講 佐藤大輔、木村英人、佐藤真人、遠藤健太郎、伊藤眞子、志村良一郎

1. はじめに

令和3年8月26日に開催された第23回東北地区国立高等専門学校職員研修に参加したので報告する。この研修は、東北地区の国立高等専門学校に勤務する技術職員に対して、その職務遂行に必要な一般知識及び新たな専門知識、技術等を習得させることにより、技術職員としての資質の向上を図ることを目的として、東北地区の各校持ち回りで毎年開催しているものである。昨年度に続き Microsoft Teams を利用したオンライン形式で行われた。

2. 開催概要および日程

- ・令和3年8月26日
- ・主幹：福島高専（オンライン形式）
- ・日程
 - 9：00－9：30 接続確認
 - 9：30－9：50 開講式・参加者自己紹介
 - 10：00－11：40 技術発表と討議
(第1セッション(コロナ関連))
 - 11：40－12：40 昼休憩
 - 12：40－13：00 接続確認
 - 13：00－13：40 講演
「高専に求められる情報教育
ーセキュリティとAIー」
講師：福島高専 島村 浩 准教授
 - 14：00－15：40 技術発表と討議
(第2セッション(一般的な技術発表))
 - 15：50－16：00 閉講式

3. 各日程の詳細

技術発表は、コロナ関連が6件と一般技術発表5件に分けられ、計11件の発表があった。本校からは遠田が「学寮食堂における新型コロナ感染対策」、鈴木が「新型コロナウイルス感染症対策の剣道用マウスシールドの製作」というタイトルでコロナ関連の発表を行った。活発な意見交換を頂き、今後の活動計画に大いに役に立った。特に新型コロナ感染対策関連の発表では、各校の技術職員がアイデアを出し、工夫をして作成した足踏み式消毒スタンドやマウスシールド、パーテーションなどの紹介もあり、これからも続くコロナ対応の参考になった。

4. おわりに

昨年の主幹校である秋田高専に続き、オンラインでの開催であったが、メリットとして、多くの技術職員が受講できることだと思う。本校では8名が受講することができた。また、自分としては初めてのオンライン発表を体験することができた。当研修を受講することで東北の高専における技術職員の取り組みを知ることができ、また親睦を深めることができ有意義な研修会であった。

発表された技術職員の取り組みなどを参考にして、これからの教育研究支援に生かしていきたいと思う。